

安易な方向から 基本に戻る時期

松下政経塾塾長で山口



県柳井市長
も務めた河
内山哲朗氏
の話 リー
マン・ショ

ック後に財政秩序が崩壊し、真面目に行政改革に取り組むより「どうやって中央と仲良くしてお金を取ってくるか」に関心が高まった。求められる首長像が変わり、意欲のある人が分権・自治を掲げて選挙に出にくくなった。東日本大震災後は「夢やビジョンより足元のことで精いっぱい」という空気もある。

ただ、財政状況はさら

に悪くなっており、17年は地方創生の成果が問われる。自治体の危機感も高まっており、安易な方向から基本ルールに戻っていく。政治への関心が高い若者は多く、首長選挙も変わっていくはずだ。